

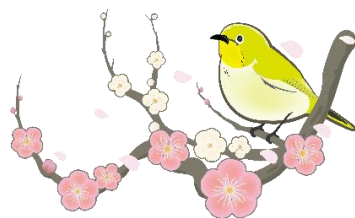
たかやま

令和3年度 第10号

発行日：R4.2.15

発行元：高山小学校

文責：校長 山中容子



庭の梅の木に花が咲き、春の気配を感じる季節になりましたが、まだまだ、不安定な天候が続きますね。

さて、北京オリンピック・パラリンピックは盛り上がりを見せ、コロナ禍で沈んだ私たちの心に、温かいものが感じられました。選手たちは様々な苦難を乗り越え、その上に、コロナ感染症との闘いまで強いられながらも、強靱な精神力で競技に挑まれたと思います。

この感動を胸に、我々も自分の目の前にある様々な課題に対して、楽しみながら前向きに取り組んでいきたいです。そんな中、先月の臨時休業が明け、高山っ子は、毎日、笑顔いっぱい元気に登校しています。規則正しい生活と体力づくりを心がけ、学年末を元気に過ごして欲しいです。ただ、様々な規制があります。例えば、マスク（不織布）を常時着用、体育学習もマスク着用、リコーダー、鍵盤ハーモニカ等の演奏はしない、給食は黙って食べる、毎日の検温並びに健康観察等、保護者様、子ども達にとって、ストレスがかかることが多々あり、申し訳ありませんが、感染拡大予防のためにご協力の程、よろしくお願いいたします。さて、高山小学校の教育活動について学校評価を実施させていただきました。二、三ページに結果を載せておりますので、ご覧ください。教職員評価も実施し、結果を分析し改善策を協議してきました。今年度からできることは始めていきます。来月開催します学校評価委員会でもご意見をいただき、よりよい高山小学校を目指して改善していきたいと存じます。

かしこくすすんで学ぶ 高山っ子

算数研究授業（一・二年生）

二月十四日、一・二年生の算数の研究授業がありました。

先月、実施した高学年の研究授業について、講師の先生からご指導いただいた内容を実践しようと低学年の算数の授業の在り方について研修を深めました。

これまで、本校では、算数の学習を学年別々にそれぞれの学年に応じた内容を学習していました。もう少し、視野を広げて、学ぶ内容は違っていても、学年の系統性や連続性を大切にして、学習のはじめと終わりを一緒にしようという試みです。昨年度から、国語においては少しずつ取り組んできましたが、算数でもやってみるようになりました。一年生、二年生ともに、たし算なのか、引き算なのか、文章問題の意味を理解して、式を決定し、答えを出すという学習です。一年生は問題文の意味をブロックを使って表し、式の意味が理解できること、二年生は問題文の意味をテープ図に表して、数量の関係が分かることが求められます。前半は、同じ問題をそれぞれの表し方で表現し、後半は、学年相当の問題に挑戦しました。二年生が、一年生を助ける場面もあり、お互いの学習を深めることができました。



やさしく思いやりのある高山っ子

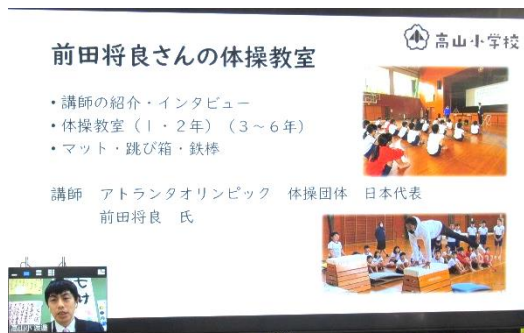
オリパラ指定校研究発表会（一月二十六日）

校報たかやま七月号でお知らせしました通り、今年度、高山小学校は、島根県オリパラ教育推進校に指定されました。九月二十二日（水）ニュースポーツ「ボッチャ」のオリンピックア藤田英二先生による体験と講演会、十月二十九日（金）「体操競技」のオリンピック前田

将良先生による講演・体操教室がありました。主にその模様を報告し、高山っ子の学びについて発表しました。どちらも、オリンピックの先生方の体験談に感動したり、体験では、心から楽しく活動したりできました。



県下各指定校と県教育委員会とのオンラインで行われました。渡邊教諭が発表しました。



まいにち元気でたくましい高山っ子

表現ダンス発表会に向けて（全校）

二月一日に開催予定であった大田市表現ダンス発表会が、コロナ感染症拡大防止のため中止されました。高山っ子は、臨時休業前から、体育の授業で、「みどりの道」をテーマに表現運動を考えてきました。そこで、映像として残していただくことになりました。各学級で、中学年「雪が降り、そして、春にうつりかわる」低学年「カブトムシやハチ、ギフチョウの昆虫の様子」高学年「みどりの道の秘密基地」というテーマを自分たちで決めて、楽しく動きをつくっているところです。最後に全校が集って、「三十三人全員でみどりの道のいい所」のアピールをします。みどりの道ってこんなに素敵などころなんだということを伝える作品になります。高山小の宝である「みどりの道」が、高山っ子によってどう表現されるのか、楽しみです。

